

夢をもとう

校長 村山 忠久

令和8年度が始まり1か月が経とうとしており、生徒は徐々に新しい学級に慣れてきています。
4月1日に着任いたしました校長の村山忠久と申します。よろしくお願いいたします。

入学式では、「夢をもとう」という話をしました。自分はどうなりたい、こういう自分になりたいという夢があれば、それに向けて努力を続けることが始まります。人に言われなくても自分で何かしようと考え、行動を始めます。主体的に考えて行動することが始まるのです。

夢が今なくてもあせることはありません。授業、行事、生徒会活動、部活動、そして読書や休日に出かけることなど、様々な経験をしていく中で、興味があること、ないことが少しずつ見えてくると思います。

私は学生の時、アフファミリーレストランでアルバイトをしたことがあります。皿洗いを希望して皿洗いばかりしていたある日、人が足りないから接客のほうをやるようにと店長から言われました。自分には絶対向いていないと思っていましたが、慣れてくると案外楽しいことに気づきました。やってみると今まで気づかなかったことに出会えます。ですから、様々なことを経験してみる。チャレンジしてみることが大切です。

目標を決めて取組を続ける。やると決めたことをやり遂げる。反省したり調整したりしながら、取り組み。この繰り返しをすることでなりたい自分に近づいていきます。一人で頑張っても何かを成し遂げるとことはまずありません。どこかで支えてくれる人がいます。また、だれかを支えることも必要です。皆で協力し合うことが大切です。

生徒の皆さんが、大宮中学校での生活で協力しあい、多くの経験を積み、一人一人が成長することを願って、教職員一同努力してまいります。ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

今年度、教育目標の実現に向けて具体的には以下のことを中心に推進して学校経営を行っていきます。

〈教育目標〉

(1) 心身とも健康な人 (2) 自ら学ぶ人 (3) 他を思いやる人

〈G組〉すすんで学ぶ人 心とからだの健康な人 思いやりの気持ちのある人

〈目指す生徒像〉「共創力」 自立した一人の社会人として、他者と協働して世の中に貢献できる生

〈令和8年度学校経営方針〉

1. 安心安全な学校	いじめ防止対策、Seibi Room、規律・マナー、傾聴、安全管理、居場所づくり、絆づくり
2. インクルーシブ教育	他者を受け止め相手の気持ちを考え行動する姿勢、人権教育
3. 主体的・対話的で深い学び	自ら学びに向かう力の育成、個別最適な学びと協働的な学びの推進、ICTの効果的な活用
	自ら考え実行する力、調整しながら挑戦し続ける力
4. 楽しい学校の推進	生徒の主体性を大切にした協働的な活動の推進、居場所づくり、絆づくり
5. 人のつながりの推進	協働的な取組の推進、小中連携、地域連携、支援本部、学校運営協議会等
6. 教育DXの推進	授業におけるICTの効果的活用、テトル、QRコード、オンライン等による効率化、情報発信等

令和8年度学校経営方針概要 【大宮中コンパス】

教育目標（１）心身とも健康な人 （２）自ら学ぶ人 （３）他を思いやる人 /（G組）すすんで学ぶ人 心とからだの健康な人 思いやりの気持ちのある人

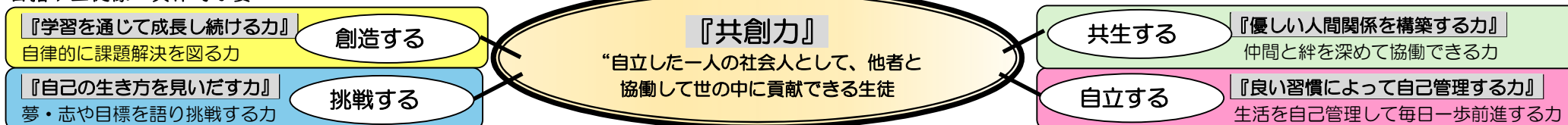
大宮中精神：『優しさをもって、自らの夢や目標にしなやかに挑戦を続ける大宮中生であれ！』

大宮中では、優しさをもって自己の可能性を見出し、夢や目標を掲げてしなやかに挑戦する生徒を育む。また「自分を育ててくれた大宮中、杉並区を愛する」ことを、誇りをもって語れる生徒を育てるための教育活動を行う。保護者・地域と信頼関係を構築し、将来、社会の一員として活躍する生徒を共に育てる。

目指す学校像：（１）しなやかな心と体を鍛える学校 （２）自己と向き合い学ぶ意欲を育てる学校 （３）他を思いやる優しさを育てる学校

『魅力ある学校とは、結局は良い授業が展開される学校である。生徒を学びに向かわせる授業像を皆で探究する学校でありたい』

目指す生徒像：具体的な姿



目指す教員像：（１）生徒がわからない事をわかるようにできる人 （２）良い生活習慣・学習習慣を身につけさせる人 （３）生徒に常に寄り添い共感的に応援できる人

目指す職員室：（１）学ぶ教職員が学ぶ生徒をつくる職場（２）常に協力し支え合い、笑いの絶えない風通しの良い職場（３）整理整頓を心がけ働き方改革を進める職場

教育目標達成のための４本柱...『7つのゼロ』目標

『授業を通じて学びに向かう力』の修得…学習無気力ゼロ ① 『全員に基礎・基本の定着』＋『出来る生徒を飽きさせない発展的学習』を踏まえ、全ての授業を工夫し充実させることで、生徒が自ら学びに向かう力の修得 ② ICT導入による個別最適な学び、協働学習、タブレットPCの利活用、情報モラルの修得	『優しい人間関係を構築する力』の醸成…いじめ見逃しゼロ・不登校未対応ゼロ ① 人権教育の徹底を図り、いじめや暴力のない温かい人間関係の醸成 ② 通常学級と特別支援学級の交流学習を通して、相互理解の醸成 ③ Seibi Room 別室を運営 学校での居場所づくりや家庭との信頼関係の醸成
『自己の生き方を見出す力』の育成…夢や目標なしゼロ・読書不読率ゼロ ① 体験活動・講演会や講話の充実を通して、望ましい職業観・勤労観の育成 ② 全ての生徒が夢と目標の違いを認識して、自己の将来を設計する意欲の育成 ③ 読書習慣の形成で『学ぶ意味』を踏まえた社会貢献の心の育成 ④ 協働的な行事、生徒会活動により、成就感、達成感、自己有用の育成	『良い習慣で生活を整える力』の定着…時間を意識しない生徒ゼロ・DOノート未活用ゼロ 『DOノート、連絡帳（G組）』に全校体制で取り組み、見通しと振り返りの定着 ① DOノートの6要素を機能的に活用する力の定着 ② 自主学習『計画・実行・振り返り』の定着。（目標1年1h2年2h3年3h） ③ 金曜日終学活前に清掃カットで『DOノートタイム』の開設と定着。

・『SDGs、カーボンハーフの視点』 持続可能な社会を創造するための取り組みを、各教科・総合的な学習の時間を通して横断的に学習する。

・『防災教育の再構築』 震災に備えて、避難訓練にとどまらず、コロナ禍で停止している地域との『震災救援所訓練』の再開および発展的実施に向けて調整を図る。

・学校運営協議会（CS）…教育課程、学校経営計画の承認、委員・生徒・保護者の意識調査、学校関係者評価の実施、広報だより、教職員・PTA・生徒会本部との懇談等。

・学校支援本部の活動…学校運営に協力できる地域の人材の紹介。放課後学習教室『なでしこ塾』、土曜特別講座、英検実施担当、地域行事の見守り 等

『ZERO 校時の充実』 五教科（モジュール授業）＋朝読書のローテーション。教科授業を補う課題の準備と適切な評価を行う。朝読書は全員読書の環境を築く。

『キャリアデザイン講座』 三年間見通しをもったキャリア教育を実施する。外部講師の積極的な登用。『起業家教育』の内容の洗練を図る。

『C&Cデーから前進』 生活のきまりを見直す過程で、生徒会活動を活性化して『きまりやルールは自分たちでつくれる、変えられる』という意欲を醸成する。

『教室の新聞活用』 新聞に関心をもたせ、世の中の事象に対する情報に触れさせる。社会の出来事を生徒に読ませる工夫を検討して、各学年・学級で取り組む。